



生活保護を引き下げると、「エキタス」と「もやい」の街頭宣伝を聞く人たち。28日、東京・新宿駅東口

人の尊厳守れ 生活保護改悪に反対

東京・新宿でアピール

安倍政権によるさらなる生活保護基準引き下げを食い止めようと28日、東京・新宿アルタ前で生活保護引き下げに反対する街頭宣伝が行われました。主催は、格差と貧困の是正などを求めて行動する「エキタス」と、生活困窮者を支援する「自立生活サポートセンタ―・もやい」。

もやいやエキタス、保護利用者などがスピーチ。保護利用者の30代女性は、節約のため出先で空のペットボトルにトイレで水をくんでいると告白し、「自尊心よりも節約が優先。今の生活保護はあまりにもせいで弱。尊厳を守って生活したい」と訴えました。エキタスの奈良みゆきさん(21)は自身が母子家庭であることを告げ、「母が

働けなくなったら大学もバイトもやめることになる。貧困と隣り合わせで生活する人が多くいる今、生活保護というセーフティネット(安全網)を引き下げたら誰も幸せに出来ない」と話しました。

日本共産党の小池晃書記局長・参院議員、立憲民主党の長妻昭・代表代行・衆院議員、自由党の山本太郎共同代表・参院議員が参加。小池氏は「安倍政権は保護費160億円を削って米軍への思いやり予算などを195億円も増やしている。思いやる相手を間違っている」と批判し、憲法25条が保障する生存権を守るために力を合わせようと強調しました。

参加した東京都の女性(28)は「生活保護基準はみんなに関係あることだと一人でも多く知ってほしい」と話しました。